



やぶぎ 貢

いんこう

私の決意

未曾有の複合災害から 12 年半。
現在、コロナ禍、物価高騰、ウクライナ情勢や
激甚化・頻発化する自然災害などの度重なる
逆風は、いわき市民の皆様はもちろん福島県民の
生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。
この逆風を乗り越えるために、一つ一つの課題を
着実に克服し、県民生活や経済活動への影響を
最小限に抑え、誰もが安全で安心して暮らせる
郷土を全力で創り上げてまいります。
「県民の思いをカタチに」、
共に福島未来を切り拓いてまいりましょう。

ふくしまの未来を 共に創る!

- 東日本大震災第2期復興・創生期間後を見据えた復興財源の確保
- 県土の強靱化と防災力の向上、流域治水の推進
- 風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略に基づく積極的な情報発信
- 人口減少を克服し、活力ある福島を維持するため、地方創生の充実・強化

Creating the future of Fukushima together!

暮らす。安心して住み、

- ・夏井川水系「河川整備基本計画」の早期見直しを要望
- ・夏井川流域治水プロジェクトを推進
- ・仁井田川、大久川水系の治水対策を推進
- ・防災ガイドマップを活用した県民の防災意識の高揚に取り組む
- ・環境にも配慮した安心・快適な生活環境の維持・確保を推進
- ・新型コロナウイルスや自然災害から県民の命と暮らし・経済を守る
- ・廃炉・処理水等原子力災害の課題は国・東京電力が厳正に対処

働く。ふるさとして

- ・福島国際研究教育機構(エフレイ)との連携強化による創造的復興にチャレンジ
- ・農商工連携での地域産業のさらなる振興を推進
- ・園芸団地等産地の大規模化、風評に負けない農林水産物のブランド化を促進
- ・水産業本格再開への取り組みを促進
- ・県産品振興戦略に基づく情報発信と販路拡大を促進
- ・再生可能エネルギー事業の立ち上げ支援と家庭と地域における導入を促進
- ・中小企業・小規模企業の生産・経営を支え、県産の魅力を発信

人とつながる。まちをつくり

- ・誰もが自分らしく生活し人権が守られる個性と能力を發揮できる社会を創る
- ・児童虐待の根絶に向けたあらゆる機関と連携した積極的な取り組みを推進
- ・誰もがいきいきと暮らせる全国に誇れる「健康長寿県」を創る
- ・女性活躍に関する人材育成や働き方改革など取り組みを促進
- ・部活動の「地域移行」への行政としての支援強化に取り組む
- ・福島イノベーション・コースト構想の更なる進化にチャレンジ
- ・将来的な移住・定住人口の増加に向けた取り組みを促進

矢吹貢一(やぶきこういち) プロフィール

- 昭和30年生まれ
- 好きな言葉／「徳は孤ならず 必ず隣有り」
- 趣味／ウォーキング、草刈り
- 福島県議会議員(3期)
- 自民党福島県連政務調査会長
- 夏井川水系河川改良促進期成同盟会長
- 公益社団法人福島県スポーツ協会副会長
- 公益社団法人ふくしま緑の森づくり公社理事
- いわき市議会議員(4期)、元いわき市議会議員
- 前福島県立湯本高等学校同窓会長

